

図書館総合展  
座談会「多文化サービスについて」

## アラビア語で紙芝居

片桐早織



2021年11月28日

لماذا وسط الجمبري مقوس

من الحكايات اليابانية الشعبية القديمة

エビの腰が曲がったわけ (日本の昔話) (アラビア語 と 日本語)



みなさん、こんにちは。片桐早織と申します。本日はこのような機会をいただき、誠にありがとうございます。私は日本の昔話を、絵本や紙芝居してアラビア語で演じたり、中東の絵本を紹介したり、国際子ども図書館で中東の子どもの本に関するお手伝いをさせていただいています。

- 1) アラビア語で紙芝居を演じるようになったわけ
- 2) 日本の昔話を選んだわけ
- 3) 絵と文を手掛けるようになったわけ
- 4) 子どもたちの反応（アラブ人・日本人）



今日は以下の、アラビア語で紙芝居を演じるようになったわけ、日本の昔話を選んだわけ、絵と文を手掛けるようになったわけ、そして子どもたちの反応について、簡単にお話させていただきたいと思います。

**まず、アラビア語で紙芝居を演じるようになったわけですが**

私はかつて、アラブイスラーム学院付属の図書室で司書をしていました。アラブイスラーム学院というのは、サウジアラビアの国立大学の分校でした。モスクを併設しているので、在日のアラブ人の方々が沢山いらっしゃる場所でもあり、図書館業務のかたわら、こまごまとしたサポートもするようになりました。そうしているうちに、私はアラブの人たちに（日本の文化を知って欲しい、日本の文化を楽しんでほしい。）と思うようになりました。

そんな折、上司から「アラビア語で紙芝居をするように」と勧められました。これがアラビア語で紙芝居をするようになったきっかけです。

**昔話を選んだわけは、**

昔話はお話として面白いだけでなく、その土地の風俗、歴史、考え方などが、ぎっしり詰まった「宝箱」のようなもので、文化を知るのにふさわしい題材だと思うからです。

最初は市販の紙芝居を翻訳して演じることを考えていたのですが、これには問題がありました。というのは、アラビア語は、日本語とは逆に文章の最初に動詞が来る、つまり結論が先に来る言語なので、市販のものでは絵とテキストが、かみ合わなくなってしまうのです。

また最も大きな問題は、市販の紙芝居では、しばしばイスラームのタブーに触れてしまうことです。

実は、これは市販の絵本にも同じことが言えます。私は以前、小学校で在日アラブ人小学生に日本語を教える仕事をしていたのですが、

その子の手を引いて学校の図書室に行き、「どれでも好きな本を選んでごらん。いっしょに読みましょう」と言うと、

その子は沢山の絵本を選ぶのですが、本を開いて中の絵を見た途端「これはダメ、これもダメ」と本を閉じてしまうのでした。中の絵がイスラームのタブーに触れてしまっていることが大きな原因でした。お地蔵さまなどの絵はもちろん、その子の場合、サンタクロースの絵なども、拒む対象でした。

文化の違いの受け止め方は人によって全く異なり、おおらかに受け止めている家庭もあります。けれど、いわば「日本の悪い影響を受けないように」と気をつけて、子育てをしているムスリムの家庭もあります。そのような家庭では、例えば『傘地蔵』のように、イスラームのタブーである偶像崇拜を認めるようなお話には、拒絶感が先にたってしまう。「郷にいつては郷に従え」とばかりに、日本の文化を押し付けることはできません。

ですから、お話を楽しみ、日本の文化を理解してもらうには、  
イスラームのタブーに触れない形で、その価値観を尊重しつつ  
日本の文化を変質させることなく、お話を伝える必要があると思います。

市販の紙芝居は、主に日本の子どもたちを対象に作られていますので、この点が難しく、そのため下手ながら、自分で作るようになりました。

## イスラームの価値観を尊重

- タブーになるものは描かない  
偶像崇拜  
肌の露出
- 訳語の工夫





紙芝居を作る際は、多神教や偶像はイスラームでは受け入れがたいものなので、神様や仏様などの「拝む対象」は絵に描かない、拝む場面が必要な場合は、像ではなく建物で表すなどの工夫をしています。また肌の露出を嫌うので、それは避けて描いてます。例えばこの「ももたろう」—こちらは絵本のほうですが—ここでも微妙に桃で下半身を隠して描いています。また訳語にも気をつけています。例えばアラビア語の「アッラー」は「神様」という意味ですが、日本の「神様」を「アッラー」と訳すことは

ありません。「アッラー」は多神教世界の神々とは異なり、唯一絶対の神であり、人の姿で描かれることもないからです。右の絵は日本神話の神様のお話ですが、この場合は、「神さま」の意味をも含む「主(あるじ)」という訳語を当てたり、場合によっては「王様」に代えることもあります。

また紙芝居では、日本文化の紹介も兼ねています。例えば冒頭をご覧いただいた「エビの腰が曲ったわけ」は伊勢神宮の遷宮の時に作ったものですが、

実際に演じる時には、「日本では大きなエビを伊勢海老と言います。」

## في اليابان يسمى الجمبري الكبير بجمبري إيسي

と付け加えたりします。

次に子どもたちの反応ですが、

紙芝居を見たアラブの子どもたちは、お話そのものを楽しんでくれているようです。「僕の国にも同じ話があるよ！」と喜んだり、同じようなストーリーでも、アラブのお話と日本のお話では結末が異なるので、「私ならそんなことしない！」と驚いたり、様々な反応を返してくれます。

日本の子どもたちの場合は、アラビア語の言葉の響きを楽しんでくれているようです。またアラビア語には「マアッシャー」「インシャーラー」「アルハンドリラー」「ビスミッラー」など、とにかく「アッラー」がつく表現が多いので、その意味や使われ方に興味をもってくれるようです。

海外の反応

### Making and Playing Kamishibai in Arabic for Muslim Audiences

by SAORI KATAGIRI

*Traditions in storytelling are meant to be shared and passed on to generations and to other cultures. By giving attention to the cultural values of Arab children, this Japanese storyteller provides a way for children to learn more about the differences and commonalities between Japanese and Arab life experiences.*

**K**amishibai is a storytelling culture peculiar to Japan. It is a unique form of entertainment, in which the performer tells the story while sequentially showing pictures. This letter is about my experience turning Japanese fairy tales into Kamishibai and playing them in Arabic for Arab children.

**Starting Points**  
I once taught Japanese to an Arab elementary school girl. One day, I took her to the library and said, "Get any books you like. Let's read them together." She chose a lot of picturebooks, a natural means of exploring a different culture. But as soon as she opened the books and saw the pictures, she said "Bad things!" She immediately closed the books and avoided seeing them, because those pictures were contrary to the teachings of Islam. I had a similar experience when I worked as a librarian at the Arabic Islamic Institute. The Arabic Islamic Institute in Tokyo is a branch of the Imam Muhammad bin Saad Islamic University, Tokyo. It is financially supported by the government of the Kingdom of Saudi Arabia and supervised by the Royal Embassy of Saudi Arabia. My supervisor at the institute asked me to share Japanese Kamishibai in Arabic. In my storytelling session, I used some Japanese Kamishibai story images that I had purchased,

but again my audience did not enjoy it because the images did not match their values. In other words, whether it is a picturebook or Kamishibai, available Japanese visual stories include content that is contrary to the values of Arab and Muslim audiences, so they cannot accept and enjoy the story.

**Why Kamishibai and Fairy Tales?**  
This realization prompted me to make Kamishibai versions of Japanese fairy tales for Arab children myself. The purpose was to create the picture-story shows in such a way that Arab children could enjoy these stories and understand Japanese culture. I chose to use the Kamishibai because this form of storytelling is characterized by the sharing of feelings between the performer and the audience, as empathy spreads among them. This empathy also enables the performer to quickly and flexibly respond to the demands of the audience. So Kamishibai is very suitable for understanding and enjoying a story. The reason for choosing fairy tales is that fairy tales are very closely related to the customs and traditions of a place. Knowing the fairy tales of a country helps one understand the culture and values of that country.

**Making Kamishibai**  
What should we do for Arab children to enjoy Japanese fairy tales? It is important for us to know Arab and Muslim culture and pay respect to their values. For example, I do not draw idols and males on my Kamishibai, as such things are unfavorable for Muslim people. When it is necessary to draw an object of worship, I express its existence by the temple or the shrine. And I do not use the word God for Japanese gods. I translate them as King or Lord, since the gods of Japanese myths are not an absolute god, and their character is either close to humans. So these words are more appropriate.

Cooperation with members of the community I am making the stories for is also important. I always ask for their opinions. During this time, we always find a lot of cultural differences between us. It is very interesting! But they recommend that I change the content of the story; I never agree to do so. We should not change the spirit of the stories because of respect for Arab and Muslim values. If we change the spirit, it will then cause misunderstandings of the Japanese culture. In that case, I explain the difference between Japanese and Arab and Muslim cultures and discuss with them what to do. Respect for each other's culture is essential for intercultural understanding.

**Children's Reaction**  
I play the Kamishibai that I made at the Arabic Islamic Institute in Tokyo, in libraries, in bookstores, and at Jazalita, a large pedestrian shopping area in Yokohama reminiscent of the old port town.

66 | BOOKBIRD  
© 2019 BY BOOKBIRD, INC.

57.2 - 2019 | 67  
IBBY.ORG

これらのことを IBBY（国際児童図書評議会）でお話させていただいたところ、思いがけず手ごたえのある反応をいただき、機関誌（book bird）にも掲載してくれました。欧米にとっては「中東」や「アラブ」は、移民や難民問題もあって身近な存在であり、関心が深いのだと思います。

日本からすれば、中東も難民問題も遠い世界の出来事かもしれません。しかし「イスラーム世界」に関

して言えば、もはや遠い世界ではありません。というのは日本と関係の深い東南アジアは、世界一ムスリム人口が集中している地域だからです。今や日本には、多くのアジア系ムスリムが住んでいますし、その数は今後ますます増えることでしょう。

ですから、このような**外国籍の子どもたちの母国の文化、価値観を考慮した試み**は、それなりに意味のあることではないでしょうか？何より子どもたちに、お話を楽しんで欲しいと思っています。